

にんげんクラブ主催

いときょう先生と学ぶ

ホツマツタエ講座

(ZOOM)

ホツマツタエとは、
縄文時代の古代文字・フシテで書か
れた、『古事記』と『日本書紀』のも
とになったといわれる歴史書です。

古代日本において、光(ひかり)の重
要性を伝えたのは縄文人でした。
ホツマツタエ講座(ZOOM)11回シ
リーズで、度々お伝えした光につい
て、この講座でさらに詳しくお話し
したいと思います。

いときょう



プロフィール いときょう
ホツマ出版株式会社取締役社長

1949年東京に生まれる。
早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
2005年に訪れた若狭彦・若狭姫神社(福井
県小浜市)がホツマツタエの記述と一致する
ことに感銘を受けて以来、独自の研究を重ね、
ホツマツタエ全アヤを解説後、後継者の
ために教科書としてまとめる。東洋大学観光
学科にてフシテ文献の講義。拓殖大学客員
教授として「世界の中の日本」においてホツマ
ツタエを200人の学生に講義。これは松本善
之助氏以来2人目。

主な著書に『やさしいホツマツタエ』
『古代史ホツマツタエの旅』全五巻『フトマニ
と北欧の女神ゲフィオンから読み解く古代人
の宇宙観と文字生成の原理』『ホツマツタエと
カタカムナで語り尽くす』吉野信子共著 他。

ホームページ

<https://hotsuma-shuppan.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/HotsumaJuku/>

～フトマニ瞑想～

タカマノハラ(目に見えない世界)とアメノエナ(目に見える世界)をイメージしながら瞑想するものです。瞑想の際の呼吸や姿勢は自分に合った方法で行ってください。瞑想におけるイメージが大切です。

初めにあなたが白い光の中にいることをイメージしてください。白い光は、無欲の世界の光です。白い光がイメージできると、あなたは自然とシヅの無い、無欲の状態になることができます。次にタカマノハラにあるツクス(アラ)とヤウス(ニコ)をイメージしてください。アラ(荒霊)とは無限に広がって行くエネルギーです。そのエネルギーをイメージするだけでOKです。

タカマノハラは、シヅ(欲)の無い世界ですから、何々しようとか、こうしたらこうなるといったことは考える必要がありません。ひたすら無限に広がるエネルギーを感じるだけでOKです。意識を何かに集中させることは必要ありません。意識の集中ではなく、意識があるがままに放置し、意識の流れや動きに任せる感覚です。

次に、無限に広がる宇宙の果てから、中心に向かうエネルギーを感じてください。これがニコ(和霊)のイメージです。これも、ただただ中心に向かうエネルギーを感じるだけで大丈夫です。こうしたイメージが難しい場合には、掌(てのひら)を使って感じるようにします。手を合わせた状態から、両手の掌を離すことで、無限に広がるエネルギー「アラ(荒霊)」をイメージしてください。また離れた掌を近づけていくことで、中心に向かうエネルギー「ニコ(和霊)」を感じてください。呼吸をゆっくりしながら白い光の中で、アラ(無限に広がるエネルギー)とニコ(中心に向かうエネルギー)を感じて下さい。

これがフトマニ瞑想の方法です。この瞑想法により、タカマノハラの陰陽融合のエネルギーが体に湧き上がってきます。

2021年4月22日(木)

講演 15:00～16:15
質疑 16:15～16:30

【参加費】 3,000円

【テーマ】 『光の意味』

古代日本において光の存在の重要性を知ったのは
縄文人でした。その理由と光の意味をお話します。



参加お申込み欄

FAX : 03-5730-2715

フリガナ	氏名	会員/一般
お名前		
ご住所	〒	
E-mail		
TEL	(日中連絡の取れる番号を記入してください)	FAX

- ・上記お申込み用紙にご記入の上、FAXをお願いします。お電話、ホームページ(クレジット決済もできます)からもお申込みいただけます。
- ・お客様のお名前・ご住所などの情報は、船井本社グループの営業活動に限り使用させていただきます。
- ・お申込み後、1週間以内のお振込をお願いいたします。ご入金確認をもって、受付完了となります。
- ・ご入金前のキャンセルはお早目にご連絡ください。受付完了後の返金は一切できませんので何卒ご了承ください。

お問い合わせ : (株)にんげんクラブ TEL : 03-5730-2713 toiawase@ningenclub.com

ホームページ <https://www.ningenclub.jp/>

本物や真理に学ぶ

にんげんクラブセミナー 検索